



岡山県を代表するホールとして、国際的な会議やシンポジウムがつつぎと開催予定



2003年5月津島キャンパス内に創設された「岡山大学創立五十周年記念館」

さかのぼること明治3(1870)年、岡山藩医学館にその開学の起源を持つ岡山大学さまは、県内にある10のキャンパスに、11学部と各種研究施設などを有しており、現在では岡山県を代表する総合大学として大きな役割を担っています。大学創立50周年の節目を迎えた同大学では、「岡山大学創立五十周年記念館」を津島キャンパス内に創設。この記念館は、国際会議やシンポジウムなどの開催を中心とした活用が期待されており、そのための設備としてアシストホーンの4CH同時通訳システムが導入されました。多国籍の参加者による講演会などで、言語の壁をなくしスムーズな進行を実現します。

システムの概要

4CH同時通訳システムは、1~4CH赤外線送信システムと同時通訳ユニットを組み合わせたものです。話者の声(原語)を音声信号化し、通訳者ユニットへ送信。そして同時通訳された音声を赤外線送信機により会場内に飛ばし、受信機を通して聞くシステムです。同館では、全座席をカバーし、どこにいても均一な音で聞けるよう、赤外線送信機6台と400台の受信機、ヘッドフォンを導入しました。

システムの特長

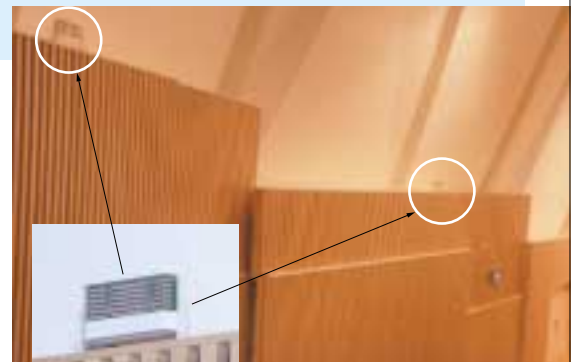
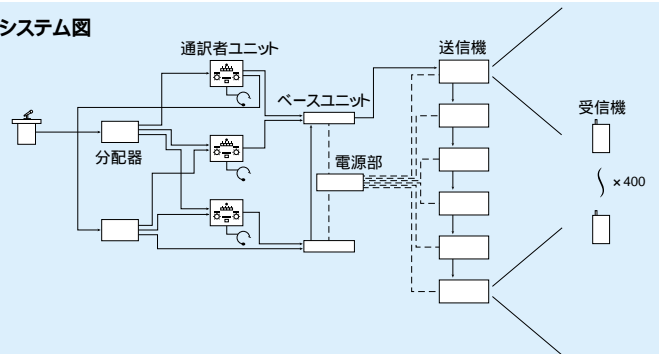
受信者は任意のチャンネル設定により自分に合った言語・音量で聴講

4CH同時送信が可能な同システムでは、原語+3ヶ国語に対応し、受信者は受信機の1~4のチャンネルセレクターを合わせることで、言語を選ぶことができます。音量調節も手もとでき、補聴システムとしても使用できるため、ホール活用の幅を広げます。

赤外線によるクリアで均一な音声伝達

外来ノイズの影響を受けずにクリアな音声伝達が可能な赤外線送信機は、より均一な伝達のため舞台から後方座席の壁面に等間隔で設置。また、送信機および取付金具色を白にした特注対応により、ホールの内装に溶け込む自然さを実現しています。

システム図



赤外線送信機は左右の壁に3台づつ均等に配置

内装になじむようパネルや金具を白色に塗装(特注)

ホール後方に設けられた同時通訳ブース



受信機は手もとでチャンネル切り替え、音量調整ができ、明瞭な音で聞くことができます

納入機器一覧

送信機	WIR-TX9	6
受信機	WIR-RX12-4	400
ヘッドフォン	HED-021S	400
ベースユニット	MOD232	2
通訳者ユニット	IC-1	3
同時通訳用ヘッドセット		6
充電器(20台用)	CHG-1600	4
電源部	TA-PS6RW	1

納入先：岡山大学創立五十周年記念館
所在地：岡山県岡山市津島中一丁目1番1号
納入年月：2003年5月